

最新カナダ事情3

カナダにおける「地域づくり」のしくみ

(株)つうけんアドバンスシステムズ 担当部長
元(社)北方圏センター職員

高桑 紀和

「持続可能な快適居住都市」をめざした「Liveable City」構想

今回クローズアップするのは、近代的な大都会でありながら、水辺の風景や緑の多さなど、カナダ西海岸



5年連続で「世界一住みやすい街」に選ばれたバンクーバー



碁盤の目のように整備されたバンクーバー市街

の自然環境に恵まれた美しい景観と、碁盤の目のように整然と整備された街並みの美しさが世界に有名な「バンクーバー」における「地域(まち)づくり」です。

バンクーバー市の面積は約114平方キロメートル、2008年2月現在の人口は約60万人で、「トロント」、「モントリオール」に次ぐカナダ国内第3位の都市です。1886年に市政が施行されて以来、太平洋岸の主要な港湾都市として、「商・工業」、「金融」、「観光」、「文化」など、ブリティッシュコロンビア(BC)州の中枢都市として成長し続けています。ちなみに、バンクーバーの町並みを做つて都市計画を策定したとされる「札幌市」の面積は約1121平方キロメートル、人口が約190万人で

すので、市域が約10分の1、人口が約3分の1の規模です。

バンクーバーは、「メトロバンクーバー」と呼ばれるバンクーバー市を核としたBC州南部地域一帯の21市町村と1選挙区によって構成される都市圏による広域行政を採用しています。

メトロバンクーバーの面積は約2900平方キロメートルで、人口は1967年の発足当時は約95万人でしたが、2006年末で約210万人となり、面積・人口ともに、札幌市と隣接する石狩市・当別町・江別市・北広島市・恵庭市を加えた5市1町の生活圏が同規模となります。

地勢は、ジョージア海峡に面し、沖合はバンクーバー島、アメリカ合衆国ワシントン州と国境を接してい



ダウンタウンで最も賑やかな地域のひとつ「ロブソンストリート」



広域行政地域「メトロバンクーバー」

ます。主な産業は、「木材加工」・「金属加工」・「製油」・「食品加工」・「印刷」・「金融」などで、鉄道と高速道路が集中し、リッチモンドの「シー・アイランド」には近代的な国際空港があります。

メトロバンクーバーでは、都市圏全体の「地域計画」・「上下水」・「住宅」・「交通」・「雇用」・「環境」・「リサイクル」・「水」・「森林」・「公園」などに関する資源とサービスの管理で、バンクーバー市を中心とした都市圏全体で行われています。

1996年、メトロバンクーバ

ーは「快適居住地域化構想」を策定し、「緑と環境の保全」、「コンパクトで機能的な都市圏の形成」、「統合的で質の高い公共交通ネットワーク」、「地域活性化」などの目標を掲げ、各自自治体の地域づくりのマスタープランとなつていきます。多機能で利便性の高い中心市街地「ダウンタウン」と、快適な生活空間を担う郊外タウンセンターを核とした「アットタウン群」を、公共交通によって有機的に結んだ「快適な生活都市圏」を形成することで、都市の急激な発展による市街地が無計画・無秩序に広がるのを抑えています。

序に郊外に広がっていく「スプロール現象」の抑制が図られています。

5年連続で選ばれた

「世界一住みやすい街」

毎年10月、英国の「エコノミスト」系列の調査機関「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」が、世界の130都市を対象に、人口に対する「病院・福祉施設」・「公共施設」・「レクリエーション施設」等の数や利用頻度、「交通機関」・「ライフライン」の整備状況、「物価」・「人口」の増減などのデータを総合的に評価し、住みやすさを『生活の困難度』で表した指数を「人口の安定性」・「医療・保健」・「文化と環境」・「教育」・「社会構造」の5分野を更に40項目に細分化し、それぞれの困難度を0〜100%で評価した結果を基に格付けしたものを公表しています。

その調査で2007年、バンクーバーは5年連続で「世界一住みやすい街」に選ばれました。上位10傑は、同率2位が「メルボルン」、「ウイーン」、「ジュネーブ」で、同率5位が「パース」、「アデレード」、「シドニー」、「チューリッヒ」、「トロント」、「カルガリー」となっている

他、16位に「モントリオール」が入選しており、上位20傑にカナダの4都市が入選しています。

ちなみに、日本の都市は、同率16位に「東京」、同率20位に「大阪」が入選しています。

「クロスカルチャー」による特色ある発展

カナダ政府は1970年代のトルドー政権下で、移民を多く受け入れ、多民族文化を奨励し、「カナダ」には、ひとつの公的文化というもの存在しない。いかなる民族文化も他の民族文化より優位ではない」と、多文化主義の本質を説いて以来、多民族を肯定的に捉える政策を推進してきました。

1988年には、「カナダ多文化主義法」が制定され、多様な各民族の伝統文化の保護・育成に力を入れた続けた結果、自然環境と都市文化のバランスの良い発展を背景に、世界各国からの移民が急増し、入植した地域において、秩序を保ちつつも、それぞれの移民が祖国の文化が尊重され、「クロスカルチャー」による特色ある発展を遂げました。カナダ多文化主義制度のシンボリック的存在は、朱色に塗られた門や電

柱、原色のネオンなどを設置した中国系の店や旅館などが沿道に連なり、辺りでは中国語が飛び交う北米最大級の規模を誇る「中華街」です。19世紀後半以降、鉄道や道路、港湾建設の労働者、西海岸の漁業従事者として、中国本土から労働者も多く受け入れ、その後、台湾、香港などからの多くの移民によってダウンタウンの南東地域に中国系コミュニティが栄えました。

現在、中華街の名物として、門の装飾の多くに最新のセラミックが用いられ、黄色い屋根に特殊なラミネート加工が施されているため、経年劣化し難いとされる中国以外で最大規模の「中華街二千年紀門」や、カナダにおける中国系移民の繁栄と調和を保つことを目的とした中国系コミュニティの中心的役割を担っている「中華文化センター」の他、蘇州から庭師が派遣され、作庭材料のほとんどが中国から運び込まれ、中国以外で造られた本格的な明朝様式の「孫文庭園」があります。

また、地域活性化に資するイベントとして、5月下旬から9月上旬までの週末は、表通りに1000件以上の屋台が軒を連ねる「夜市」が催され、地域住民の憩いの場所になっている他、2000年以上前に中国で始まって以来、世界各国で開催されている「ドラゴンボート祭」が6月上旬に開催され、民族を問わない100以上の地元チームが参加し、カナダに移入された中国人文化を楽しんでいます。

その他、かつてチャイナタウンの北に、「リトル東京」「リトル横浜」と呼ばれた「日本人街」がありました。しかし、第二次世界大戦時に日系カナダ人は財産を没収されて内陸部の日系人収容所に連行され、戦後に解放された日系人はカナダ全域に広く散らばるなどした結果、現在では、「バンクーバー仏教会」、「バンクーバー日本語学校」、「日系会館」を除いて、ほとんどが廃墟化し、毎年8月に行われる日系社会のイベント「パウエル祭」以外に、今ではその面影を見出すことができなくなりましたが、近年、ダウンタウンの「ウエストエンド」地域に、日系の小売店やレストランが多数出店し、「リトル銀座」と呼ばれる「新日本人街」が新たに創造されています。

バンクーバーでは、ヘルシーさが認知されて世界的に人気を博している「日本食」が深く浸透しており、「和食レストラン」、「居酒屋」、「寿司屋」が多くあります。最近では「回転寿司」が出店するなど、すっかり日本食文化が定着しており、英語化された「SUSHI」は、今や



チャイナタウンのシンボル「中華街二千年紀門」



中国系コミュニティの中心的役割「中華文化センター」



ダウンタウン随所にある日系小売店



UBCキャンパス北部にある「新渡戸記念庭園」

バンクーバー名物のひとつとなつて
います。

また、日本文化の象徴のひとつに
「日本庭園」がありますが、その代
表例は、旧50000円札の肖像画
だったことで知られる、札幌農学校
(現北海道大学) 出身(後に教授)
の「新渡戸稲造博士」(ビクトリアで
客死)をしのぶ本格的な純和風の
「新渡戸記念庭園」がUBCのキャ
ンパスの北部にあります。

バンクーバーにおける「地域づ くり」の要諦

劇的な変化を遂げたことで知られ
る地域が、美しい内湾の「イングリ
ッシュ・ベイ」に面したビーチを擁



豊富な品揃えの「キットラノ」のおしゃれな書店

し、対岸の「ノースショア」の山々
の眺望が素晴らしく、現在、バンク
バーで最も人気が高い地域「キッ
ツラノ」です。

約40年前、「人口増加」や「急速
な都市発展」に伴う環境問題が表面
化した時代に、サンフランシスコな
どから「伝統・制度などの既成の価
値観に縛られた社会生活の否定を信
条とし、自然への回帰」を提唱する
「ヒッピー」と呼ばれるやからが多
く流れ込んだ結果、一時期この地域
は、アンチ都市文明のヒッピー文化
が宿り、バンクーバーにおけるヒッ
ピー活動や「環境・自然保護」運動
の拠点となりました。1969年
には、環境保護団体「グリーンピー



キットラノ・ビーチから見た対岸の「ノースショア」

ス」の前身組織「波を立てるな委員
会」がこの地で発足し、かつては、
グリーンピースの本部が置かれてい
た地域としても知られています。

近年、「西四番街」を中心に大規
模な再開発が行われ、お洒落で個性
豊かな「本屋」、「劇場」、「プティッ
ク」の他、眺めの良い「レストラン」
、「バー」などが立ち並び、地元
住民から「キッツ」と呼び親しま
れ、現在では、「ヤッピー」と呼ば
れる「高学歴」のエリートビジネス
マンや専門職などが多く住む「洗練
された高級住宅街」に変化を遂げま
した。

このように、バンクーバーでは、
「交通利便性の向上」、「公共空間の
充実」、「地域の価値創造」、「多様性
の重視」、「地域の誇り・連帯感の醸
成」、「市民参加」などをキーワード
にした『持続可能な快適居住性』の
考え方を基本に、「地域経済」、「伝
統文化」、「景観」、「自然」、「生物」
などにバランス良く目を向け、なお
かつ時流を見極めた総合的な地域振
興策や再開発などが施され、「人に
優しく、地球に優しい」理想の地域
づくりを意欲的、意識的に取り組ん
だ結果、「世界一住みやすい街」が
形成されています。

「未来」への貢献を目指し、



新たな分野に挑戦しています。

RYUBUNDO CO.,LTD. 株式会社 龍文堂

本社 / 〒006-0832 札幌市手稲区曙2条5丁目2番54号

TEL 011-682-1451 FAX 011-694-4406

営業所 / 〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町10番10号 久松ビル4F

TEL 03-5847-8330 FAX 03-5847-8331

URL: <http://www.ryubundo.co.jp>